

# ふくろう新聞

<発行>

特別養護老人ホーム  
淡路ふくろうの郷  
広報委員会  
洲本市中川原町中川原  
28番地1  
TEL: 0799-25-8550  
FAX: 0799-25-8551



大きな支援に感謝

社会福祉法人ひょうご聴覚障害者  
福祉事業協会

理事長 三根 一乗

明けましておめでとござい  
ます。

「ふくろう新聞」ご愛読  
の皆様におかれましては、  
健やかに新年を迎えられま  
したこととお喜び申し上げ  
ます。昨年は、皆様方を始  
め多くの関係各位のご尽力  
により、本法人にとっての

あけましておめでとございます。昨年は  
たくさんの方々が訪れました。  
本年もたくさんの方々に訪れて頂いて  
入所者の方々と交流していただけるよう、  
入所者・職員一同お待ちしております。

最高にして最大の事業であ  
りました特別養護老人ホー  
ム「淡路ふくろうの郷」を  
奇跡的とも言える5億円の  
募金を集め切り、無事オー  
プンさせることができました。  
改めて、皆様方のご支  
援に心から感謝申し上げます。

さて、「淡路ふくろうの  
郷」では60名の入所者が、  
毎日の手仕事や書道、押し  
花、野菜作りなどの学び、  
リハビリによる心身機能の  
回復、地域行事などへの主  
体的な社会参加等々を通じ  
て、日本人の平均寿命を迎  
え、超えている人たちが多  
い中でも日々発達し、自己  
実現を図っているというす  
ばらしい現実があります。

これもひとえに貧しいわ  
が国の社会保障政策の下、  
厳しい条件の中で頑張っ  
てきた職員たちの努力と、入  
所者自身の頑張りやそれを  
常に暖かく支え、励まして  
いただいているご家族を始  
め、地元中川原地域の皆様、  
淡路聴覚障害者協会、淡路  
の各手話サークル、書道、  
押し花、散髪、送迎等々の  
ボランティアの皆様方のお  
陰と深く感謝しております。

皆様方の施設である「淡  
路ふくろうの郷」と本法人  
が更なる前進を図るため  
にも、引き続きのご指導、  
ご支援をお願いし、皆様方  
のこの一年間のご多幸、ご  
健康をお祈りして新年のご  
あいさつとさせていただきます。

# 若さでがんばる！

山口 宏子さん



淡路島の南あわじ市出身の山口宏子さんを紹介したいと思います。

宏子さんは61歳、手話はず、他人とのコミュニケーションも難しい方です。今年の8月にふくろうの郷に来られました。ふくろうの郷の中でも1、2を争う若さで、はじめはまわりの入所者の方たちと上手くやっていけるのか？という心配もあったのですが、宏子さんの人柄なのでしょうか？まわりの入所者さんもいろいろ気にかけてくれています。

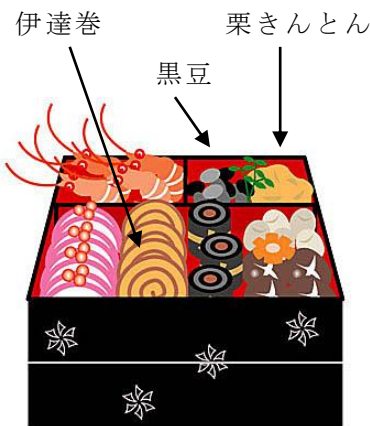
入所されてから体調を崩されたこともあったのですが、今は元気に他の入所者さんと一緒に作業室でビーズ通しなどをして過ごされています。

今後も若さを武器に作業、遊びとも精力的に活動してほしいと思っています。

(介護・濱田)

## おせちのいわれ

おせちは五穀豊穰を願い、家族の安全と健康、子孫繁栄の祈りを込めて、縁起の良い食材の名にこっそり寄せ、海の幸、山の幸を豊かに盛り込んだものです。



☆ おせち料理の意味をいくつか紹介します。

伊達巻…江戸時代、長崎に伝え

られたしっぽく料理の中に「カステラかまぼこ」というものがあり、これが江戸に伝えられ、伊達者たちが来ていたドテラに似ていることから、伊達巻とよばれるようになった。

栗きんとん…黄金色に輝く財宝にたとえられ、豊かな1年であるようにという願いが込められています。

黒豆…豆は、丈夫・健康を意味する言葉。

田作り…豊作を願い、小魚を田畑に肥料として巻いたことから「田作り」と名づけられました。

(調理・桐本)

## 1月のお誕生日の皆様です おめでとうございます



谷妙子さん(74歳)  
昭和8年1月4日



田村貞夫さん(71歳)  
昭和11年1月4日



志田喜代松さん(80歳)  
昭和2年1月31日



芝田カヨ子さん(61歳)  
昭和21年1月23日



海津維久男さん(11歳)  
昭和10年1月30日

# いこいの村で交流会



11月28、29日に全国高齢聴覚障害者福祉施設利用者交流会が京都にある「いこいの村」にて開催され、全国から8施設が集まりました。ふくろうの郷からは8名の入居者さんが代表として参加されました。

はじめに施設の紹介では参加された8名が舞台に立ち、一生懸命ふくろうの郷での生活をお話ししてくださいました。ふくろう工房やふくろう大学、1泊旅行をはじめ様々な行事の話になると参加者の皆さんは興味津々!!

「うらやましい!」「すごいね!」

「開所して1年目だけど立派」との声が沢山いただきました。

夕食交流会では鴨鍋・キジ鍋・いのしし鍋を参加者全員で囲みました。勝楽進さんは「鴨鍋、おいしい!」とニッコリ。

会食後はゲームをしたり、名刺交換を行なったり、多くの方々と交流ができました。

2日目は、いこいの村、梅の木寮で行なわれている作業、わらじ作り、紙すき、ちぎり絵、織物などを見学し参加させていただきました。



絵はがき作りを見ていた谷

妙子さんは「指先が器用で驚いた。ふくろうの郷で私もやってみたい!」と話されていました。

他の施設の取り組みを知ることができ、参加者同士交流も行なえ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

(介護・園部)

## クリスマス会



12月10日、淡聴協主催クリスマス会がふくろうの郷で開催されました。ふくろうの入所者からも約30人が参加され、ケーキを食べたり、手話歌をしたりと楽しみました。最後にはクリスマスプレゼントももらい、大変喜んでいました。



### 【訃報】

岩城 伸介さん (78歳)  
平成18年12月15日12時25分 永眠



岩城さんが岡山の牛窓から淡路ふくろうの郷へご夫婦そろって入所されたのは平成18年9月21日のことです。韓国籍のため夫婦別姓でしたが、奥様の堀越さんとはとても仲が良いご夫婦で、何をしてもいつもお2人一緒でした。突然のお別れとなり残念でなりません。心からご冥福をお祈りいたします。



### 「価値ある暮らし創り」

淡路ふくろうの郷

施設長 大矢 暹

明けましておめでとうござい  
ます。

皆さまと共に、また新しい年  
を重ねられたことを喜び、心か  
ら感謝するものです。昨年の春、  
兵庫県内外から参集された二千  
名を超える多くの方々と共に、  
淡路ふくろうの郷の竣工開所を  
祝い合ってから、これまで三三  
〇〇人もの方々が施設見学や研  
修にお越しくございました。

とりわけ地元・中川原町内会、  
交通安全協会等の皆さまには、

開所まつりの開催を始め、耳  
のマーク・ふくろうマークの  
道標の設置、そして地域農家  
グループからは、おいしく、  
安全な農産物を納めていただ  
いております。

淡路聴力障害者協会、手話  
サークルの皆さま等々にも、  
送迎ボランティアや、学びの  
場・ふくろう大学の書道や園  
芸講座にと、大変お世話にな  
っています。小中学校・高等  
学校の児童・生徒さんは「命  
の授業」や人権学習に、また  
ボランティアとしても活躍い  
ただいております。

さて、こんにち、新たな貧  
困が高齢者の孤立や生活苦を  
強いています。定員60人で介  
護度1〜2の方が24人、平均  
介護度が3.05度、第二号  
被保険者が4人居られ、平均  
年齢が75歳、これらがふくろ  
うの郷の特徴です。病気をい  
たわりながら、手仕事と勉強

もしたい、もつと多くの方と  
関わりたいという生活ニーズ  
に応え、一方で、安定経営も  
大事な課題です。  
兵庫聴覚障害者情報センタ  
ーや、ろう関係の共同作業所  
と連携し、一人ひとりの希望  
を大事に『自分にとつても意  
味があり、社会的にも価値の  
ある暮らし創り』に寄り添う  
生活介護実践をさらに重ねて  
まいります。

更なる皆さま方のご指導と  
ご支援をお願いし、新年のご  
挨拶いたします。



#### 1月の予定

- 12月31日 大晦日
- 1月1日 元旦
- 1月2~3日 初詣
- 1月15日 とんど焼き



#### 寄付者紹介

西宮の藤代さんよりステンドグラスの  
リースを頂きました。聴覚障害者情報セ  
ンターで教わったものをプレゼントい  
ただきました。施設の廊下にて電気の下  
に飾らせて頂きました。  
ありがとうございました。

